

# 令和3年度 事業計画書

公益社団法人

阿見町シルバー人材センター

# 令和3年度 事業計画

## 【I】基本方針

阿見町の令和2年10月1日現在の常住人口は、47,927人で前年同月との比較で152人の増(0.3%増)となりました。一方、65歳以上の人口は、13,466人で前年より210人増え、高齢化率も28.3%(前年は27.9%)となりました。また、15歳から65歳未満までの生産年齢人口は、28,216人で前年より30人の減となりました。0歳から14歳までの年少人口も5,940人と前年より8人減少しています(阿見町総務課調べ)。当町においても徐々に少子高齢社会が進行しているものと推測され、超高齢社会への備えが必要になるものと考えられます。

加えて昨年2月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、4月には緊急事態宣言が発出され、感染拡大防止のための不要不急の外出自粛、小中高校等の休校、町公共関連施設の休館、スポーツや祭り・イベント中止、企業の就業縮小・休業など社会の活動を止め、経済活動停滞により当センターにおいても深刻な影響を及ぼしてきており、事態の収束まで長期に及ぶことが憂慮されます。

このように日常の生活状況が一変した社会情勢のなか、当センターは、4月に設立30周年を迎えました。新型コロナワクチン接種も開始し、年内には可能となる見通しであり、か細げながらも希望の光が灯る思いです。引き続きマスク着用、手指消毒、検温、首都圏への外出自粛、三密(密閉、密集、密接)を避けるなど、感染防止対策を徹底して励行し、新しい生活様式を取り入れた日常生活を送ることがますます重要になるものと認識いたしております。

当センターは、このようなコロナ禍のなかではありますが、会員の安全を最優先に掲げ、「自主・自立、共働・共助」の理念のもとで、生涯活躍し続けることが出来る「生涯現役社会」を実現するため、臨時的かつ短期的な就業又は軽易な業務の就業機会を提供するとともに会員の社会貢献活動、研修・講習等を通じて地域社会に根ざしたセンターづくりに可能な限り努めてまいります。また、全シ協が掲げた「会員100万人計画(2024年度まで)」の目標達成に向けた「会員の拡大事業」に引き続き取り組んでまいります。

## 1 事業達成目標

- (1) 会員数 440 人（前年度 416 人）
- (2) 就業率 100 %（請負、派遣合わせて）
- (3) 契約件数 2,500 件（請負、派遣合わせて）
- (4) 契約金額 請負 186,400 千円、派遣 64,400 千円（合計 250,800 千円）
- (5) 安全就業スローガン ①「チョットまで 作業の手順 手を抜くな！」  
②「無災害 個々の意識が 実を結ぶ」

## 2 シルバー人材センター事業

- (1) 会員の拡大事業（全国シルバー人材センター会員数 100 万人計画に向けて）
  - ① 会員の入会促進⇒出前による入会説明会開催  
（行政区長会、民児協、自治会、シルバークラブ・同好会などへの働きかけ）
  - ② 会員の退会抑制⇒イベント開催、会員同好会、ゴールド会員制
  - ③ 会員勧誘の推進⇒役職員、会員による会員紹介・勧誘活動
  - ④ 女性会員の入会促進⇒女性会員によるネットワークの活用
  - ⑤ 賛助会員の入会促進⇒事業所等への勧誘訪問活動
- (2) 就業開拓提供事業
  - ① 会員就業先の安定的確保に努め、臨時的かつ短期的、軽易な就業機会を提供（請負、委任又は派遣就業）
  - ② 専任職員による受注活動⇒事業所訪問、電話・ダイレクトメール発送等
  - ③ 阿見町役場、阿見町商工会との連携強化⇒新規事業の情報・提案
  - ④ 阿見町ふるさと応援寄附返礼品事業への参加
    - ア 空き家見守りサービスの提供
    - イ お墓のクリーンサービスの提供
  - ⑤ 社会的資源の活用⇒新聞折込みチラシ、店頭広告、就職情報誌、インターネット情報、町広報紙、公共施設 13 か所に配架
  - ⑥ ハローワークとの連携強化⇒高年齢者の就業促進
  - ⑦ 日常生活支援事業の検討⇒ゴミ出し、電球交換、水道パッキン交換など
  - ⑧ 農業分野への参加取組みの検討
- (3) 調査研究事業
  - ① 女性会員が増加している先進センターの取組み状況の調査研究
  - ② アンケートによる顧客満足度調査

- ③ 近隣センターとの情報交換による比較調査研究
- ④ 先進センター訪問によるセンター事業に関する各種調査研究
- ⑤ 当シルバー人材センター事業概要の編纂、作成

#### (4) 相談事業

- ① 会員への就業情報提供
- ② 未就業会員に対する個別就業相談
- ③ 公共施設等関連業務希望会員を対象とした新規就業相談
- ④ 就業相談による配置替え、ワークシェアリングによる公平な就業機会の確保

#### (5) 研修・講習事業

- ① 接遇マナー講習⇒職員、会員対象
- ② 植木手入れ講習
- ③ 県シ連が企画する高齢者人材育成事業との連携による講習
- ④ センター独自による研修の企画、実施
- ⑤ 就業前における研修手当の実施

#### (6) 普及啓発事業

- ① 阿見町広報紙への掲載⇒センター事業の紹介
- ② 会報紙の発行⇒年4回発行（5月、7月、10月、1月）
- ③ 事業普及のためのチラシ作成、配布⇒公共施設13か所に配架
- ④ シルバーの日（10/1）及び普及啓発促進月間（10月）におけるPR活動
- ⑤ 「阿見町さわやかフェア」イベント参加による普及活動（県シ連共同参加）
- ⑥ センター啓発用タオル、ティッシュ、グッズ等の作成、配布
- ⑦ ホームページ活用による情報の迅速な発信
- ⑧ 設立30周年記念事業（式典開催、表彰など）の実施

#### (7) ボランティア活動事業

- ① 阿見町予科練平和記念館の環境美化活動
- ② 阿見小、植物園等の植木の手入れによる美化活動
- ③ 霞ヶ浦周辺清掃美化活動
- ④ 使用済み切手の回収、寄附活動
- ⑤ 県シ連主催チャリティゴルフ大会参加活動
- ⑥ 公共関連施設の環境美化、奉仕活動

(8) 安全・適正就業推進事業

- ① 県シ連主催安全就業推進大会への参加
- ② 安全就業ニュースの発行⇒事故事例紹介、改善策
- ③ 熱中症、インフルエンザ等の注意喚起対策⇒チラシ配布、ホームページ
- ④ 安全パトロールの実施⇒事故多発業務、夜間業務、運転業務等
- ⑤ 交通安全講習、自動車安全運転講習の実施⇒職員、会員対象
- ⑥ 運転前のアルコールチェックの実施⇒職員、会員対象
- ⑦ 普通救命講習（AED）の実施⇒職員、会員対象
- ⑧ 認知症サポーター養成講座の実施⇒職員、会員対象
- ⑨ 適正就業への取組み⇒請負契約から派遣契約への切替え
- ⑩ 会員の健康管理の実施⇒県シ連・ダイヤ事業財団共同研究事業「会員の健康・生活チェック」継続参加

## 【Ⅱ】法人管理事業等

### 1 会員の拡大のための目標値設定

(R3 会員数 440 人⇒R4 会員数 465 人⇒R5 会員数 491 人⇒R6 会員数 519 人)

### 2 会議、研修の実施

- (1) 定時総会 年1回(6月)
- (2) 理事会 年7回開催
- (3) 役職員研修 役職員の資質向上を図るため、県シ連等研修への積極的参加

### 3 センター組織の強化と改善への取組み

- (1) 会員の高齢化対策の推進(襖・障子・網戸張替え、植木の手入れ、草取り・草刈り・草集め、日常清掃業務などに就業する会員の高齢化対策として就業会員募集を推進)
- (2) センター職員の増員による事務局体制の強化を推進
- (3) 職員の意識改革、レベルアップのための講習・研修への参加を推進
- (4) センター定款及び規約、規程等の見直し、かつ整備を図り、センター事業の活動において法令遵守、社会規範に反することのない公正、公平な業務遂行を推進
- (5) 町補助金の増額及び公共関連事業の受注増加

### 4 財政基盤の確立

公益社団法人として関係法令を遵守し、経費節減等に努め、計画的かつ効率的な財政運営を図るとともに事業収益及び国や町からの補助金の財源確保による安定的経営基盤を確立し、健全財政に努める。